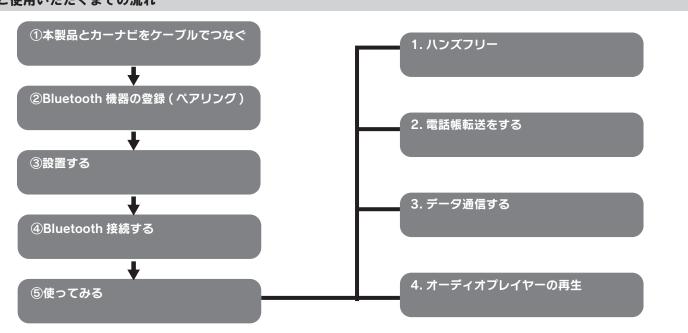
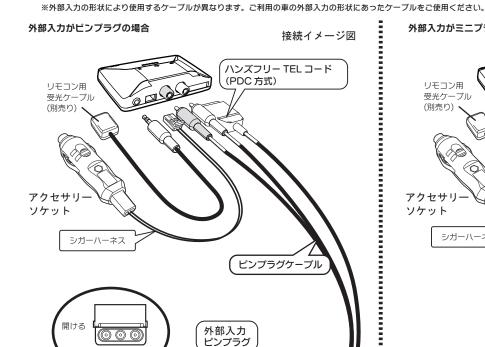
**I·O DATA**

B-MANU200846-02

NVBTHシリーズ

# セットアップガイド

**※本書ではHONDAハードディスクナビゲーションシステムを例にしています。**
**（オデッセイ(03年10月モデル)の例）**
**※カーナビの操作手順についてはご利用のカーナビの取扱説明書を必ずご確認ください。**

## ●ご使用いただくまでの流れ

## ①本製品とカーナビをケーブルでつなぐ

下図のようにケーブルを接続します。
※本製品を接続するときは、車のエンジンを切った状態で接続してください。
※外部入力の形状により使用するケーブルが異なります。ご利用の車の外部入力の形状にあったケーブルをご使用ください。

### 外部入力がピンプラグの場合

### 外部入力がミニプラグの場合

接続イメージ図
リモコン用
受光ケーブル
(別売り)
ハンズフリー TEL コード
(PDC 方式)
アクセサリー
ソケット
シガーハーネス
ミニプラグケーブル
外部入力
ミニプラグ
カーナビへ

## Bluetoothユニット使用時の接続機器の組み合わせについて

本製品は2つの Bluetooth 機器登録ができます。
Case により登録手順や使える機能が異なります。

Case1:夫婦共にBluetooth携帯電話を持っている場合

Case2:Bluetooth付携帯電話機（オーディオプレイヤー付）をお持ちの場合

Case3:Bluetooth付携帯電話機と
Bluetooth付オーディオプレイヤーをお持ちの場合

Case4:Bluetooth付携帯電話機（オーディオプレイヤー付）をお持ちの場合
さらにデータ通信用としてWILLCOM通信カードをお持ちの場合

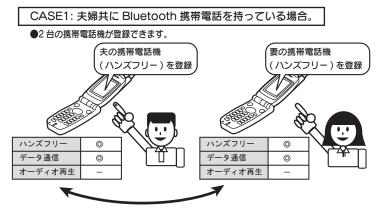
Case5:Bluetooth付携帯電話機とBluetooth付オーディオプレイヤーを持っている場合
さらにデータ通信用としてWILLCOM通信カードをお持ちの場合

注意
※携帯電話一台ではオーディオ再生中にデータ通信はできません
データ通信を行う場合は、オーディオ接続を切断してください。
※オーディオ再生ができるかどうかは携帯電話機メーカーに
ご確認ください。

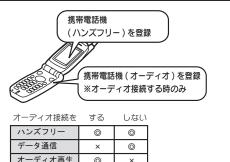
### CASE1: 夫婦共に Bluetooth 携帯電話を持っている場合。

●2 台の携帯電話機が登録できます。

| ハンズフリー | ◎ |
|---|---|
| データ通信 | ◎ |
| オーディオ再生 | – |

| ハンズフリー | ◎ |
|---|---|
| データ通信 | ◎ |
| オーディオ再生 | – |

どちらか一方のみ接続（同時に使用できません）
※2 台の携帯電話機を同時に接続することはできません。
※先に Bluetooth 接続した携帯電話機のみ使用できます。

### CASE2:Bluetooth 付携帯電話機（オーディオプレイヤー付）をお持ちの場合。

| オーディオ接続を | する | しない |
|---|---|---|
| ハンズフリー | ◎ | ◎ |
| データ通信 | × | ◎ |
| オーディオ再生 | ◎ | × |

※携帯電話機をオーディオ接続するとデータ通信はできません
※データ通信を行う場合は、オーディオ接続を切断してください。

### CASE3:Bluetooth 付携帯電話と Bluetooth 付オーディオプレイヤーをお持ちの場合。

●オーディオプレイヤーの音楽を車内で聴くことができます。

携帯電話機
(ハンズフリー) を登録
オーディオプレイヤー
(オーディオ) を登録

| ハンズフリー | ◎ |
|---|---|
| データ通信 | ◎ |
| オーディオ再生 | – |

| ハンズフリー | – |
|---|---|
| データ通信 | – |
| オーディオ再生 | △※ |

※データ通信中は、オーディオ再生が停止します。

※携帯電話機の音楽を再生することはできません。
※データ通信中は、音楽再生が停止します。

### CASE4:Bluetooth 付携帯電話機（オーディオプレイヤー付）をお持ちの場合。さらにデータ通信用として WILLCOM 通信カードをお持ちの場合

●携帯電話機のオーディオプレイヤーの音楽を車内で聴くことができます。

| ハンズフリー | ◎ |
|---|---|
| データ通信 | – |
| オーディオ再生 | ◎ |

| ハンズフリー | – |
|---|---|
| データ通信 | ◎ |
| オーディオ再生 | – |

同時使用可能

※データ通信はデータ通信カードを利用して通信を行うことにより通信費が軽減されます。

### CASE5:Bluetooth 付携帯電話と Bluetooth 付オーディオプレイヤーを持っている場合。さらにデータ通信用として WILLCOM 通信カードをお持ちの場合

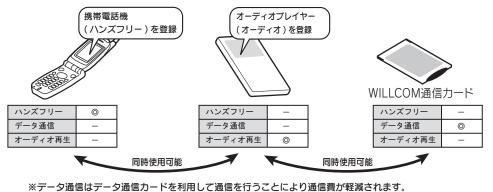
●オーディオプレイヤーの音楽を車内で聴くことができます。

| ハンズフリー | ◎ |
|---|---|
| データ通信 | – |
| オーディオ再生 | – |

| ハンズフリー | – |
|---|---|
| データ通信 | – |
| オーディオ再生 | ◎ |

| ハンズフリー | – |
|---|---|
| データ通信 | ◎ |
| オーディオ再生 | – |

同時使用可能　同時使用可能

※データ通信はデータ通信カードを利用して通信を行うことにより通信費が軽減されます。

## ②Bluetooth 機器の登録（ペアリング）

①本製品に対して携帯電話機を登録します。この時、携帯電話機は Bluetooth 通信可能な状態にしてください。

※本操作を行う前に携帯電話機の端末暗証番号を「0000」に設定してください。念のため、以前の端末暗証番号は、メモしてください。
※本製品は2つの Bluetooth 機器を登録することができます。
※3 台以上の機器を登録すると、登録の古いものから消されていきます。同じ機器なら、何度登録作業をやりなおしても 1 台としてカウントされます。
※既に登録済みの機器と Bluetooth 通信を行っている時には、登録操作はできません。

| 押し続ける時間 | 点滅状態 | パスキー |
|---|---|---|
| 約 3 秒間 | 青色高速点滅 | 1212 |
| 約 7 秒間 | 青色超高速点滅 | 0000 |

※ボタンを押し続ける時間によってパスキーを選択できます。

**携帯電話をハンズフリー機器として登録する場合（左下ページ【参考】の CASE1 の例）**

1)本製品の「SET UP」ボタンを約3秒間(右表参照)押しつづけ、Bluetooth携帯電話機からのペアリング待ち状態にします。
2)お使いの携帯電話機にあわせて、下記の「 本製品に携帯電話機を登録する 」の手順に従い登録をおこないます。
※「ハンズフリー機器として登録」をおこなってください。

**携帯電話をハンズフリー機器とオーディオプレイヤーとして登録する場合（左下ページ【参考】の CASE2、4 の例）**

1)本製品の「SET UP」ボタンを約3秒間(右表参照)押しつづけ、Bluetooth携帯電話機からのペアリング待ち状態にします。
2)お使いの携帯電話機にあわせて、下記の「 本製品に携帯電話機を登録する 」の手順に従い登録をおこないます。
※「ハンズフリー、オーディオプレイヤーの両方を登録」をおこなってください

**携帯電話をハンズフリー機器（データ通信）として、Bluetooth オーディオプレイヤーを音楽再生機器として、それぞれ登録する場合（左下ページ【参考】の CASE3、5 の例）**

1)本製品の「SET UP」ボタンを約3秒間(右表参照)押しつづけ、Bluetooth携帯電話機からのペアリング待ち状態にします。
2)お使いの携帯電話機にあわせて、下記の「 本製品に携帯電話機を登録する 」の手順に従い登録をおこないます。
※「ハンズフリー機器として登録」をおこなってください。
3)登録した携帯電話機の電源を切ります。
4)Bluetoothオーディオプレイヤーを下記の「 本製品に Bluetooth オーディオプレイヤーを登録する 」の手順に従い登録をおこないます。
5)3)で電源を切った携帯電話機の電源を入れBluetooth接続をおこないます。(自動的に接続がおこなわれます)

②ここから、登録した機器携帯電話をカーナビで確認する手順となります。

1)携帯電話機の登録が完了し、本製品の青色ランプが
ゆっくりとした点滅に変わります。

ゆっくり点滅

2)カーナビの画面にも、電波強度を
示すアイコンが表示されます。

### 本製品に携帯電話を登録する

※携帯電話機によって手順が異なります。詳細はお使いの携帯電話機の取扱説明書をご確認ください。

**NTT ドコモの場合**　例:P904i

1)携帯電話側の操作をおこない、Bluetooth機器の検索を行います。
2)携帯電話機の画面に表示された「NVBTHxxx」(xxxはバージョン)を選択し、端末暗証番号「0000」を入力します。
3)携帯電話の画面で、PINCODE[1212]を入力します。
4)本製品から「ピー」と音が鳴り、携帯電話機の画面に接続するサービスの選択画面が表示された場合は右の表をご覧いただき、お使いになるサービスを有効にしてください。

※携帯電話機をオーディオプレイヤーのみで登録した場合には、オーディオプレイヤーとしてのみ動作します。ハンズフリーや電話帳転送、データ通信をおこなえません。

| 登録内容 | 有効にするサービス |
|---|---|
| ハンズフリー機器として登録 | 「ハンズフリー」 |
| オーディオプレイヤーとして登録 | 「オーディオ」 |
| ハンズフリー、オーディオプレイヤーの両方を登録 | 「ハンズフリー」と「オーディオ」 |
| データ通信として登録 | 「ダイヤルアップ」 |

**auの場合**　例:W54T

1)「トップメニュー」-「Bluetoothメニュー」-「3.初期登録」を選択します。
2)右の表を確認いただき、登録メニューを選択します。
3)携帯電話機の画面に表示された「NVBTHxxx」(xxxはバージョン)を選択します。
4)携帯電話機の画面でパスキー[1212]を入力します。
5)Bluetooth接続されます。
6)ハンズフリーとオーディオの両方を登録する場合のみ、さらに「メニュー」-「Bluetoothメニュー」-「ワイヤレス機器選択」-「NVBTHxxx」を選択します。

※ハンズフリーとオーディオの両方を登録時に、誤って「ワイヤレス接続」を選択した場合は「ワイヤレス接続」を「OFF」にし、Bluetooth接続開始の状態で、しばらくお待ちください。本製品から「ピー」という音が鳴り、自動的に接続されます。

| 登録内容 | 登録時に選択するメニュー |
|---|---|
| ハンズフリー機器として登録 | 「ハンズフリー登録」 |
| オーディオプレイヤーとして登録 | 「ワイヤレス登録」 |
| ハンズフリー、オーディオプレイヤーの両方を登録 | 「ハンズフリー登録」の後、6)の手順をおこないます。 |
| データ通信として登録 | 設定はありません |

※携帯電話機をオーディオプレイヤーのみで登録した場合には、オーディオプレイヤーとしてのみ動作します。ハンズフリーや電話帳転送、データ通信をおこなえません。

**ソフトバンクの場合**　例:912SH

1)携帯電話側の操作をおこない、Bluetooth機器の検索を行います。
2)携帯電話機の画面に表示された「NVBTHxxx」(xxxはバージョン)を選択します。
3)携帯電話機の画面で、パスキー[1212]を入力します。
4)携帯電話機の画面の「登録済みデバイス」の画面が表示されます。
5)携帯電話画面に接続するサービスの選択画面が表示されます。
「ハンズフリー」と「オーディオ」の両方が自動接続されているので、右の表をご覧いただき、お使いにならないもののチェックを外してください。

※携帯電話機をオーディオプレイヤーのみで登録した場合には、オーディオプレイヤーとしてのみ動作します。ハンズフリーや電話帳転送、データ通信をおこなえません。

| 登録内容 | 有効にするチェックボックス |
|---|---|
| ハンズフリー機器として登録 | 「ハンズフリー」タブ内の「NVBTHxxx」 |
| オーディオプレイヤーとして登録 | 「オーディオ」タブ内の「NVBTHxxx」 |
| ハンズフリー、オーディオプレイヤーの両方を登録 | 「ハンズフリー」と「オーディオ」の両方のタブ内の「NVBTHxxx」 |
| データ通信として登録 | 設定はありません |

### 本製品に Bluetooth オーディオプレイヤーを登録する

オーディオプレイヤーのパスキーを確認し、本製品に Bluetooth 登録をおこないます。
※登録するオーディオプレイヤーによってパスキーが決まっています。オーディオプレイヤーの取扱説明書でパスキーをご確認ください。
※パスキーが「0000」「1212」以外の機器の場合は利用することができません。
※他の Bluetooth 機器が接続されていない状態で登録をおこなってください。

1)本製品の「SET UP」ボタンをパスキーが「1212」の場合は3秒間、パスキーが「0000」の場合は7秒間押しつづけ、Bluetooth機器からのペアリング待ち状態にします。
2)登録するオーディオプレイヤーの取扱説明書を参照いただき、ペアリングをおこないます。
3)登録が完了し、本製品の青色LEDがゆっくりとした点滅に変わります。

## ③設置する

①

シールは避ける

マジックテープ
（かたい方）

②

例)オデッセイの場合

ダッシュボードの上には設置しない

エアバック付近には設置しない

マジックテープ
（やわらかい方）

センターテーブル

センターテーブル

※他の車種の場合はグローブボックスなどに、
付属のマジックテープで固定してください。

## ④Bluetooth 接続する

すでに本製品とBluetooth接続ができている場合は不要です。
ペアリング済のBluetooth機器とBluetooth接続をおこなうための手順です。

### ハンズフリー接続

①ペアリング済みの携帯電話のBluetoothを待ち受け可能な状態にしてください。
②本製品が自動的に接続をおこないます。

**手動でハンズフリー接続をおこなうには**

本製品の「SETUP」ボタンを「ピッ」と音がするまで押します。
⇒ハンズフリー機器の検索が行われます。
（検索中は、オーディオ再生は中断し、検索が終わると
再生が再開されます。）

### オーディオ接続

オーディオ機器側からBluetooth接続をおこなってください。

## ⑤使ってみる

※お使いのカーナビによって手順が異なりますので、必ず、カーナビの取扱説明書をご確認ください。

### 1. ハンズフリー通話

発信する場合は必ずカーナビを操作して発信してください。
運転中に携帯電話機を操作することは法律で禁止されています。

#### 発信する

①メニューを押します。
②「電話」を選択します。
③「電話帳」を選択し、電話番号を
選択し、「発信」を押します。

#### 着信する

①電話が着信すると右の画面が
表示されます。

②「通話」を選択します。
※カーナビの操作で「通話」を選択します。
あるいはステアリングの着信ボタンを押します。
※詳しくはカーナビの取扱説明書をご覧ください。

#### 通話を切り替える

※ご利用の車種や携帯電話によっては、
通話の切り替えができない場合が
あります。

通話中に「SET UP」ボタンを「ピッ」と音がするまで押すと、

携帯電話機での通話 ⇔ カーナビでのハンズフリー

を切り替えることができます。

※もう一度押すと元に戻ります。

「ピッ」と音がするまで押す

注意

車の運転中には絶対に操作しないでください。
必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。

### 2. 電話帳転送をする

携帯電話機の電話帳をカーナビに転送するには、いったん本製品へ電話帳のデータを Bluetooth で転送し、本製品からカーナビに転送をおこないます。
本製品にハンズフリー機器として登録済みの携帯電話機から転送します。
※電話帳転送している時に電話がかかってきた場合は転送が中断され、正常に転送されません。その場合は、もう一度始めから電話帳転送を行ってください。
※カーナビや携帯電話機によっては電話帳転送ができないものがあります。

1）携帯電話から本製品に転送する。

2）カーナビへデータ転送する。

※本操作を行うまえに携帯電話機の端末暗証番号を「0000」に設定してください。
念のため、以前の端末暗証番号メモしてください。

**1) 携帯電話から本製品に電話帳を転送する**

①本製品を「転送モード」にします。
→本製品が「ピッ、ピピッ」と鳴り、緑ランプが 2 回づつ高速点滅するまで「SET UP」ボタンを押し続けます。（約 3 秒間）
※ハンズフリー通話中は、転送モードにできません。

②携帯電話で電話帳の全件転送を選択し、端末暗証番号「0000」、認証パスワード「9999」を画面の指示にしたがって入力します。
→電話帳転送が開始されると「ピー」という音が鳴り、携帯電話画面では電話帳の転送の画面が表示されます。
※ハンズフリーとオーディオプレイヤーの両方で接続している携帯電話機の場合は、オーディオプレイヤーの接続を無効にしてからおこなってください。
③転送が完了すると、本製品と携帯電話機はハンズフリー待機状態に戻ります。
これで、本製品への電話帳の転送が終了しました。

**2) カーナビへ電話帳データを転送する**

※お使いのカーナビによって手順が異なりますので、必ず、カーナビの取扱説明書をご確認ください。
※本操作中は、ハンズフリー通話、オーディオ再生は利用できません。
※本製品に転送された電話帳データはエンジン始動時に自動的に消去されます。
※携帯電話の電源を切ったり、Bluetooth 接続を切断したり、切り替えたりしないでください。

④カーナビの「メニュー」-「電話」-「電話設定」を選択し、
「電話番号データ読み込み」を選択します。

⑤端末暗証番号「0000」を入力します。

⑥本製品からカーナビへ電話帳データが転送されます。
→電話帳が転送されると「ピーピー」と音が鳴り、カーナビ画面ではデータを読み込む画面が表示されます。

⑦転送が完了すると、カーナビの画面が「電話設定」の画面に戻り、「ピー」とブザー音がなります。
本製品は携帯電話機と自動的にハンズフリー接続されます。
これで、電話帳の転送が完了しました。
※電話帳転送している時に電話がかかってきた場合は、正常に転送されません。
その場合は、もう一度始めから電話帳転送を行ってください。

転送中は
緑色ランプが５秒に１回点滅
転送終了後
青色ランプが３秒に１回点滅

#### 転送された電話帳の確認

電話帳の転送が正しく行われたか確認を行います。

電話帳の開き方
1)カーナビの「メニュー」-「電話」を選びます。
2)「電話帳」を選びます。
3)表示された電話帳を確認します。
※詳しくは、カーナビの取扱説明書をご覧ください。

これで電話帳の転送が間違いなく行われました。

### 3. データ通信する

①カーナビの通信設定をおこないます。
データ通信は、インターネットサービスプロバイダー(以下ISP)を経由して通信されます。
それぞれのお使いの携帯電話機や接続するISPで接続条件が異なりますのでご確認の上、設定をおこなってください。
下記の例は携帯電話会社の提供するISPを使った場合の設定になります。他のISPを利用する場合はISPごとに異なった設定を入力する必要があります。
設定についてはISPへお尋ねください。なお、データ通信を行う場合、接続するISPがパケット通信に対応している必要があります。
また、パケット通信料金が別途発生いたします。
1)カーナビの「通信機能設定」画面より「マニュアル設定」を選択します。
2)以下の表のようにお使いのプロバイダーにあわせて設定します。

通信設定例

| 携帯電話会社 | | NTTドコモ | au※1 | ソフトバンク |
|---|---|---|---|---|
| ISP | | mopera | au.net | アクセスインターネット |
| 入力項目 | 電話番号 | *99***1# | *99**24# | *99# |
| | ユーザID | 任意の文字列(例:mopera) | au@au-win.ne.jp | ai@softbank |
| | パスワード | 任意の文字列(例:mopera) | au | softbank |

※1:au.netに接続して利用する場合はパケット通信料金とは別に月額料金として945円(税込)が別途課金されます。

※上記設定例は、2007年8月現在のものです。詳細は各携帯電話会社へお問い合わせください。

②カーナビの「メニュー」→「internavi PremiumClub」を選択し、「トップメニュー」を選択します。
※データセンターに接続し、必要な情報がダウンロードされます。

③回線を切断するとハンズフリー待機状態になります。

青色ランプが 2 秒に 1 回点滅

### 4. オーディオプレイヤーの再生

Bluetooth 搭載のオーディオプレイヤーや Bluetooth 搭載の携帯電話機 ( オーディオプレイヤー付 ) を利用して音楽再生ができます。
※オーディオプロファイルで本製品と Bluetooth 接続が登録されていることが必要です。（表面の「Bluetooth 登録について」参照）

音楽を再生＆Bluetooth 送信

音楽を受信

外部入力または「ＶＴＲ」を選択することにより車内で
オーディオプレイヤーや携帯電話機の音楽を聴くことができます。

イメージ図

①オーディオを外部入力に切り替えます。
※例：オデッセイの場合
「TV/DVD」ボタンを 1 回または 2 回押して「ビデオ」に切り替えます。

②オーディオプレイヤーを再生します。
携帯電話機の場合は携帯電話機の音楽ファイルを Bluetooth 出力の設定にします。
※携帯電話機の機能によっては出力できないこともありますので、携帯電話機の取扱説明書をご確認ください。

#### 携帯電話機でオーディオプレイヤー再生

再生手順例

| | |
|---|---|
| **NTT ドコモの場合（FOMA P904i の設定例）** | 1)「メニュー」-「Lifekit」-「ミュージックプレイヤー」を選択し、再生する音楽を選択します。<br>2)Bluetooth 出力をおこなうかどうかの確認画面が表示されます。<br>→「Ｙｅｓ」を選択します。 |
| **au の場合（W54T の設定例 )** | au Music Player もしくは、データフォルダ内のファイルを指定し選択します。 |
| **softBank の場合（912SH の設定例 )** | 1)「メディアプレイヤー」-「ミュージック」-「プレイリスト」を選択します。<br>2) 表示されているプレイリストを選択し、再生します。 |

#### ポータブルオーディオプレイヤーでの再生

→オーディオプレイヤーの再生ボタンを押します。
③音楽が再生されます。
※音楽を楽しむためには、本製品が外部入力端子と接続されている必要があります。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/
2007.11.30 発行